



令和8年6月30日
7月号 No.491
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川 623

「小さな時間」と「大きな時間」

副校長 中島 恵大

1学期も残すところあと一か月となりました。始業式がつい最近のことのように感じます。私は、時の流れを早く感じるということは、毎日が充実していたと思っています。お子さんにとって、ここまでの学校生活はいかがだったでしょうか。

さて、本日の全校朝会で私が子供たちに向けて話をしました。内容は表題のとおりです。

初めに「小さな時間」を大切にすると「大きな時間」が生まれるということをお話しました。

例えば、授業の初めに短時間集中して説明を聞けば、その後の楽しい活動の時間がたくさん確保できます。

また、「小さな時間」をおろそかにすると、「大きな時間」で損をすることも話しました。片付けの時にわずかな手間を惜しんで、いい加減に物をしまると、次に必要なときに見付けられず余計な時間が掛かってしまう…といったことです。

この様に、「小さな時間」は「大きな時間」に深く関わっていると伝えました。

次に、「大きな時間」が「小さな時間」にも深く関わっていることも伝え、事例を紹介しました。

食事は、自分が食べる時間以上に、準備をする人による材料の調達や調理、食器洗い等、たくさんの時間をつかって準備されています。つまり、自分の食事の時間（「小さな時間」）は、準備をする人の「大きな時間」によって成り立っているということです。

学校生活でも、子供たちが数分間で取り組むワークシートや、45分間の授業は、教員が日々それ以上の時間を費やして準備されているということをお話しました。

食事の準備や授業の準備、それらは、仕事として当然行うべきものではありますが、子供たちには、自分の「小さな時間」のために、他の人の「大きな時間」がつかわれていることに気付き、少しでも感謝したり、その人の思いや願いについて考えたりできるようにしてほしいと願っています。

私たち、教職員も子供たちの貴重な「小さな時間」がより豊かで充実したものとなるよう、日々の授業準備や環境づくりの時間を惜しまず子供たちを支えています。



登録用二次元コード

学校支援ボランティアサポーター（二小くまっこ応援団）を募集しています。

本校の教育活動を支える学校支援ボランティア（二小くまっこ応援団）にご登録いただける方を引き続き募集しています。

学校支援ボランティア（二小くまっこ応援団）は、保護者・地域の皆様が学校に集い、子供たちや教職員と共に、子供たちのための活動をすすめていくものです。できることを、できる時間に、無理なく支援することが基本で、どなたでも参加できます。子供たちの健全育成のために御協力をよろしくお願いいたします。